

「孤立する介護者の心理を考える」 ～支援者は介護者にどう向き合えばよいのか～

参加費 一般 2,000 円, アラジン会員・学生 1,000 円

日本では、2021 年に初めてヤングケアラーへの支援が国の施策として始まったのを契機に、「ケアラー」への目線や「ケアラーの支援」という課題が、自治体の支援施策や現場の専門職への研修にも少しずつ広がってきています。しかし介護事件などが後を絶たないのも実情です。そこには介護者が知らず知らずのうちに社会心理的に孤立しているという背景があるのを見逃すことはできないと考えます。本日のフォーラムでは、あらためて、“介護者はなぜ孤立しがちになるのか”を理解しつつ、現場の支援者や自治体はどのように方策を考えていけばよいのかをみなさんと一緒に考えていきたいと思います。みなさまのご参加をお待ちしています。

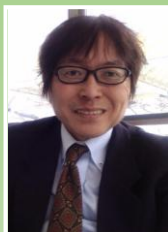
日時 2025 年 6 月 15 日(日) 13:30～16:00
会場 全理連ビル 9F C 室



(山手線総武線代々木駅北口 1 分 渋谷区代々木 1-36-4)

*改札を出て通りの真向い、目の前に「全理連ビル」の看板あり

◇第 1 部 基調講演 「孤立する介護者の心理を理解し支援するために」 (渡辺 俊之 氏)



渡辺俊之氏
精神科医

東海大学医学部卒。東海大学講師、高崎健康福祉大学教授、東海大学教授を経て、祖父と叔父の意を継ぎ「渡辺医院」を故郷群馬県に開院。現在は日本精神神経学会指導医、日本精神分析学会認定スーパーヴァイザー、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザーとして後輩の指導にあたっている。

■第 2 部 報告 1 「介護殺人の調査から」 宮元 預羽 氏

報告 2 「福井県の介護者支援の取り組み」 成田 光江 氏

■第 3 部 パネルディスカッション ～介護殺人を契機とした自治体の介護者支援施策～

パネリスト 宮元 預羽氏 (湘南医療大学 介護福祉別科 講師)

成田 光江氏 (福井県立大学看護福祉学部 准教授)

コメンテーター 渡辺俊之氏 (渡辺医院 院長 精神科医)

コーディネーター 服部万理子氏 (日本ケアマネジメント学会理事・渋谷介護サポートセンター理事長)



宮元預羽 社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士 修士 (心理学)
博士 (介護福祉・ケアマネジメント学)
湘南医療大学 介護福祉別科 講師

介護老人保健施設の介護職員、特別養護老人ホームや在宅介護支援センターの相談員、居宅介護支援事業所で介護支援専門員として従事しながら大学と大学院修士課程を修了。介護福祉士や社会福祉士の養成校の教員として、20 年目になる。



成田光江 看護師・社会福祉士
福井県立大学 看護福祉学部 看護学科 准教授

一般社団法人 みなと地域包括ケアシステム研究所 代表理事

複合課題、オーラルフレイル、地域包括支援を軸に、地域の多様な機関や専門職、自治体職員、住民等と、多くの課題を同時に抱える個人・世帯・家族と支援者の支援システムづくりに取り組んでいる。

【主催】NPO 法人介護者サポートネットワークセンターアラジン

mail: arajin2001@arajin-care.net TEL: 03-5368-1955 (火～金 11:00～17:00) FAX: 03-6809-1093

【協賛】一般社団法人 日本ケアラー連盟 ・認定 NPO 法人 市民福祉団体全国協議会